

申 立 書

令和 年 月 日

宇 治 市 長 宛 て

所有者 住所

氏名

Ⓜ

このたび、私が建築し、又は取得した下記家屋は、現在のところ未入居の状態にあ
りますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

記

1. 家屋の表示

所在地

家屋番号

2. 入居予定年月日

令和 年 月 日

3. 現在の家屋の処分方法等（いずれかに ）

売却 賃貸家屋にする 賃貸借契約を解除

親族が居住 未定

その他（ ）

4. 入居が登記の後になる理由（いずれかに ）

引越し準備のため 前住人が未転出（未転居）

自己の住宅の用に供する申請家屋を取得するための資金貸付けに係る抵当権
設定を急ぐため

その他（ ）

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には、証明を取り
消され、税額の追徴を受けても異議ありません。